



左から、黒木義昭・広島県農業協同組合中央会専務理事、森信秀樹・森信建設社長、緒方俊平・緒方・藤川法律事務所所長、牛来千鶴・SOHO総研社長、渡辺一秀・マツダ会長、鶴野俊雄・ヒロテック会長、本誌主幹の弥山政之、藤田博之・広島市議会議員、司会の日隈健二・広島修道大学教授、深山英樹・広島ガス社長、高田沙夜・タカタ会長、中村さん、柳川大平・中国新聞販売センター社長、平田富美子・IWAD環境福祉専門学校理事・校長



前編(七時~十五時)(出席順) 広島島商
田 誠/シンコー社長、筒井敏三/広島ブ
さし社長、浮田 収/広島市病院事業局管
リエイト社長、小林正典/広島経済大学専
授、上田みどり/平安堂梅坪社長、竹内泰
博/広島本通商店街振興組合連合会理事
剛/広島県観光連盟会長(瀬戸内海汽船会
教授、大田 晋/広島文化学園理事長補佐、
年健二/NPO広島経済活性化倶楽部理事
所所長、金城一郎/NPO広島経済活性化
伊藤雅次/大竹商工会議所会頭、谷岡 肇/
中国放送社長、金井宏一郎/広島駅弁当
長、池本よしこ/広島銀行頭取、高橋 正
事社長、河野高信/島屋社長、吉貴康二/
大下龍介/カナダ政府広島通商事務所代
国電力社長、白倉茂生/賀茂泉酒造社長、
哉/広陵学園理事長、二宮義人/Aーバン
華祥苑社長、藤井祥子/渡部商事社長、渡
枝/もみじ銀行頭取、森本弘道/有信設計
ホテル広島社長、川越 一/廿日市商工
上田博之/ヒロコージェットテクノロジ
三郎/広島ホームテレビ社長、橋本宗利/
産業社長、矢野博夫

NPO公共空間活用推進プロジェクト理事長
クロマコンサルタント社長
岩本知莎士
広島南食品衛生協会会長
松田 昌之
牛田商店街振興組合専務理事
丸山 健二

SOHO総研社長
平田富美子
牛来 千鶴
広島県農業協同組合中央会専務理事
黒木 義昭
森信建設社長
森信 秀樹
広島市議会副議長
碓井 法明
中国经济連合会会長(中国電力会長)
高須 司登
フュージョン社長
十倉 純子

若い人たちのベンチャー精神を 支援しよう

牛来 (千鶴・SOHO総研社長)

私は大学とのインターンシップ(会社などでの体験就業)などを通して学生たちと常日頃から関わることも多いんです。最近よく感じるのは元気な学生は一部なんだけれども、その一部の学生は非常に元気だなと感じるんです。例えばですが、経済産業省の経済産業局がやっているドリムゲートのプロジェクトの中で起業家のかばん持ちインターンシップというのがありまして、中国地方は私も含めて五人の起業家が選ばれているんです。そして今、私のところに修道大学の女子学生が来てくれて、いるんですけども、とても前向き



ちづる 牛来 SOHO総研代表取締役

昭和38年生まれ、山口県出身。比治山女子短期大学卒業。第一学習社、ハーストリイでの販促プランナーを経て、平成11年オフィスを開業。14年SOHO総研を設立し代表取締役SOHOコーディネイターとして現在に至る。趣味・美味しい店巡り、座右の銘・善なる思いは叶う。

です。自分たちも企画をやりたいということと総合職のサポーターとして学生が十人ぐらいいるんですけども、その中に比治山大学の学生、修道大学の学生や他の広島の短大生もいますし、関わっているんですよ。その中で例えば、学生でベンチャー起業家として活躍している男性がいますけども、彼なんかは瀬戸田のみかんの販売で町興しをしていたり、あるいは宮島とかショッピングモールでいろいろやっていて、元気な学生が出てきたかなと思っっているんですが、どうですか。

牛来 そういう意味では話がつながるか分かりますね。ですけど、私は個人事業者たち小規模事業者たちの共同オフィスというのを作っているんですけど、広いビルを借りきって二十四事業社、三十六人の人が入っているんですけど、本当に多種多様な人たちがいますよ。ITに限らず、そこにはイラストレーターがいたりカメラマンがいたり、あるいは社会福祉保健の先生がいたり、その中で今、ちっさい規模の集積地を作っていて、実は十年後のビジョンとしてそのビル自体をもっと大きな集積地にしようという仲間たちとの共有のビジョンを持っているんです。そこで何をしたいかという若手の育成と、広島地域の、街をもっと元気にするための仕掛けをSOHOの専門家であるかきつかけを作ることができないかなと企んでいます。先ほどハードにお金をかけるのはもったいないと仰いましたけど、私たちはそのハードを持っているんじゃないんです。ソフトしか持っていないんです。今までやってきたノウハウと専門技術でそのハードをどうしようという集積地を作っていくかということが課題なんじゃないかと。その集積地をつくる上で安佐動物園はどうしようとか宮島の観光の誘致をしようとかいろんなことが生まれてくるんです。もみ

じ饅頭にしても、もっと売っていくために宅配を考えたりそういうことを専門家たちでSOHOのイラストレーターとかキャラクターデザイナーたちと柔軟な発想でシステムを作っていくという考えをしているんです。

牛来 もう少し自由にと私たちも考えていて、交流会を毎月やっていて五十人のメンバーがたった一本の電話に集まってくるんです。なぜか一本の電話に集まってくるかというところへ来ると元気を貰えるから他に伝えてくれるんですね。そういうことで、もっともっと大きくなっていくことを願っているんですが、そうすると資金とかハード面とかいろいろ課題があります。